

河川愛護モニター一会議（現地説明会・意見交換会）を行いました

～地域と連携した河川の維持管理のために～

庄内川河川愛護モニターに委嘱（H30.7）された岡田みき子さんと庄内川河川事務所職員で、河川愛護モニター会議として、現地説明会・意見交換会を行いました。

「河川愛護モニター制度」とは、庄内川で見たことや気づいたことなどを河川管理者に通報していただくことで、地域と連携した河川の維持管理を目指すための制度です。

今回、岡田モニターに庄内川の現況をさらに深く知っていただくことで、より活発なモニター活動をお願いしたいと思います。

平成30年度 河川愛護モニター一会議 平成30年11月2日（金）

第1部 現地説明会

庄内川下流域の河川工事の現場を紹介するとともに、ゴミ等の投棄箇所や、ラムサール条約に登録されている藤前干潟を確認しました。

現地説明により、ゴミ等の投棄や大量のペットボトル等が干潟に打ち上げられている状況など問題の意識を共有することができました。

第2部 意見交換会

第1部で確認した現場について意見交換をすることで、モニター活動に対する視野を広げることができ、庄内川が抱えている問題（不法行為等）を再認識することができました。

現地説明会の様子



ゴミ等の投棄箇所(上)や
モニター活動の留意点(下)を確認しました。



意見交換会の様子



庄内川のより良い管理のため、モニター活動で通報を頂きたい内容を再確認しました。会議の終わりに、岡田モニターよりコメントを頂きました。

「藤前干潟に大量のペットボトルが打ち上げられていることを知り、中流部で暮らしているものとして、モニター活動が、ゴミ減量に繋がる一助となるよう努めて行きたいです。」